

KGA

'97秋季号
1997年10月1日発行



第48回 関

ーポンゴルフ選手権

NO.60

目次

特集・第48回「関東オープン」

平成9年度 第48回 関東オープンゴルフ選手権競技 … 1

マンデーには本選にない面白さがある … 7

〈座談会〉“いざ国体” … 10

〈KGAレポート〉佐賀は“ゴルフ先進県” … 16

夏はジュニアの季節だ … 18

新規加盟倶楽部紹介・事務局便り … 24

分科委員会 … 25

月例競技成績表・お知らせ … 28

表紙photo 関東オープン 水戸グリーンカントリークラブ (撮影・片山晴美/KGA広報委員)

関東ゴルフ連盟

特集・関東オープン

平成9年度(第48回)関東オープンゴルフ選手権競技

●開催日 平成9年9月4日(木)～9月7日(日)
●会場 水戸グリーンカントリークラブ・山方コース
6,881ヤード パー72、72ホール、ストロークプレー



横山 明仁選手

苦節9年 横山明仁
～2度目の優勝～

レポート 宮元昭雄(KGA広報副委員長)
写真 石川博英 片山晴美 舟橋一芳
(KGA広報委員)

ほとんどの選手がグリーンの微妙なアンジュレーションと速さに泣いた。72ホールを終えた安田春雄、金井清一の両ベテラン選手も、さすがに疲労困憊の色を隠せず足どりが重い。「いや参ったよ！グリーンが難しくて…」日頃はサービス精神旺盛でギャラリ受けのよい兩人だが、この日ばかりは全くダンマリを決め込んでいたのが印象的だ。

関東オープン優勝という輝かしい実績を持った歴代のチャンピオン7名(横山明仁、福沢孝秋、湯原信光、川岸良兼、横島由一、白石達哉、金井清一)が加わった決勝ラウンドは、近年に無いまさに死闘に近いグリーンとの闘いであったことは間違いない。しかも、上位20名が日本オープンの出場権を得られるだけに、久し振りに充実した内容の大会であったのではないだろうか。

スティンプ・メーターで計測したグリーンの速さは11～12フィートだ。ピン位置が奥に切られているホールでは、大半の選手が、そのピン奥まで

突っ込んでくるショットが見られなかったことから見ると、かなりプレッシャーのかかったグリーンであったことが考えられる。

勾配と傾斜に加えてスピードの読み違い、殆ど両サイドからのバットはカップをスリ抜ける場面が多く、天を仰ぐ姿が各所で見られた。いかにグリーンに泣かされた今大会であったかということが言えよう。



スタートホールでは大ぜいのギャラリが喰い入る目付きで観戦



ごひいきの選手を追うギャラリー



ギャラリープラザのテントも大にざわい



好評だった巡回販売車

最終日、箭しくも金井(左)、
安田の両ベテランが同じ組

マンデーから登りつめ2位入賞の北島選手

◆◆◆◆◆ 勝負は最終18番ホール ◆◆◆◆◆

「15・16番のグリーンが勝敗のカギ」と新井競技委員長が、後半のもつれを早くから予想していた通り、北島、横山の両選手の後半5ホールの競り合いは見事だった。

マンデー組から初の優勝が期待された北島泰介プロ、「今日は2桁アンダーを目標に頑張ります」とスタート前に力強くその意欲を語っていた。彼は、PL高校時代、プロ野球の桑田、清原と同期であったが、ゴルフの道を選び、若手有望選手として、期待されているが、この関東オープンの活躍で注目を浴びた。北島選手だけでなくマンデー組から10名のプロが決勝ラウンドで活躍したことを思うと、連盟が若手の登竜門として、マンデーの

方法を開設した意義に充分応えてくれたといえよう。

試合の展開は、14番、横山がバーディーでトップに躍り出た。しかし問題の15番(623ヤード、パー5)では横山が3パットとグリーンで泣き、北島がバーディーで逆転、16番ショートホールは共にパーで切り抜けたが、17番で北島が3パットでボギーとしたのに対して、横山がバーディーで再逆転、二人のデスマッチはギャラリーを興奮の坩堝に落とし入れてくれた。

すべては最終18番(465ヤード/パー4)にもつれ込んだ。距離があり向かい風、しかも1打目のポジションどりは危険の多いホールだ。2打目は打ち降ろしたが、グリーンの状態を考えると、かなり正確なショットが要求される。一差を追う北島は残されたこのホールにかける以外に勝利への道は



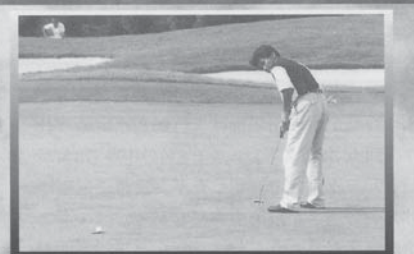
横山選手のティショット



優勝を決めたラフからの絶妙のアプローチ



3オン、1パット思わずガッツポーズ



“何も考えず、ただカップだけを目標にパットした”

ない。二人の熱い闘いは、共に1打目が左右に乱れた。北島は不運にもバンカーにつかまった。どう見てもこの時点では横山有利と見られたが、ラフに喰われた2打はグリーンをとらえられず、40ヤードも残したバンカー越しのラフに止まった。一方北島は起死回生とも思えるショットで2オンに成功、しかもピン5ヤードにピッタリとつけた。スタンドは騒然となった。勿論この時点でプレーオフか北島の逆転優勝が考えられたからだ。

勝負は運も実力のうちというが、絶体絶命の横山のアプローチショットが、ピン2メートルに寄って来た。残されたのは両者のパット勝負だ。ギャラリーは固唾を飲んでこの対決を凝視した。心血を注いで72ホール目を迎えた北島、決して諦めるようなパットラインではないが、読み切れるかど

うか、あとは運を天に任す以外にない、と思って打ったファーストパットは無情にもピンの右をかすかにスリ抜け天を仰いだ。冷静に芝目を読む横山、負けないが、プレーオフだけは何としても避けなければならない。そしてその静寂がどよめきに変わったとき見事、横山の勝利が決った。

苦節9年、「この日が遠かった」と横山は目に涙をうるませて言った。

「9年前に関東オープン(江戸崎カントリー倶楽部)で勝って以来調子が悪くシード権もとれない何年かが続いた。このグリーンでここまでやれたことは今は幸運だった。嬉しさで一杯だ」と。

関東オープン2度目の優勝、数千名に及ぶギャラリーたちは、この若き獅子たちの熱い闘いに惜しみない拍手を贈っていた。

◆◆ ベストアマはプレーオフ、5番ホールで決着 ◆◆

ベストアマを決める中島、矢野両選手は共に287ストロークでプレーオフにもつれ込み、5ホール目で中島雅生(関東ジュニア・高3)がベスト・アマに輝いた。中島選手の両親(中島常幸プロ夫妻)と姉が連日、付きっきりの応援をしていた。



愛息の応援にかけつけた中島プロ

サインをねだるギャラリーに「今日は私もギャラリーだから…」と率なく断る場面も見られた。「両親の期待に応えたい」とケナゲな気持ちを口にしていた本人も、この名誉ある舞台で、ベストアマの栄誉を勝ち取ってさぞかし満足であろう。

中島、矢野両選手の健闘を讃えておきたい。

日本オープンへの出場権は上位20名と定められており、同点(287ストローク)6名の中から5名がカウントバック方式で決定したが、決勝で惜しくも負けた矢野選手が出場権を得ながら、ベストアマの中島選手が外れたことは、なんとしても皮肉なことではないか。1ホールのスコアが、いかに大切であるかということを知られたことであろう。しかし、日本オープン出場の枠内でもし欠場者があった場合には出場が認められるというケースも考えられるので、精神的にもひるむことなく精進して欲しい。また上位20名の者は日本オープンでは是非立派な活躍を期待したいものだ。



プレーオフで敗れたものの日本オープン出場権を獲得した矢野東君



ベストアマに輝いた中島雅生君



先ずはキャディさんと記念撮影としゃれこんだ3人の老練(左より石井、林、小針さん)

◆◆ 大好評だったジュニアゴルフ・クリニック ◆◆

今年も大会に花を添えたのはビッグ3。つまり小針春芳、林 由郎、石井朝夫のベテランプロによる9ホールのエキビジョン・マッチとジュニアたちへの特別実技指導であった。10番から9ホールのストロークプレーを多くのギャラリーたちは、間近にその円熟した技を見ることが出来たし、三人共70歳を越えた年齢ではあるが、共に関東オープン2度のチャンピオンという輝かしい記録をもつ老練、その一打一打に惜しみない歓声と拍手が湧いていた。また午後には25名の選ばれたジュニアに対しての指導を行った。

高校生から最年少は小学校3年生。母親のクラブを持参していた服部大輔君(小3)は、クラブを振り始めて6カ月だという。三塚優子、杉山加奈さんの両名は共に中1、毎日200発は練習所で球を打っているという。将来の目標は?と聞くと、すかさず「プロゴルファー」と答えた。

高1の大堀貴子さんは、今年の高ゴ連の大会で予選落ちした悔しさを、この日のチャンスにしっかりと勉強したいという。武内雅子さん(中2)は、故KGA



小針さんのていねいなレッスン

武内副理事長のお孫さん、これまでスキーに熱中していたが、父親に進められてゴルフに転向したという。スキーで鍛えた体だけに、その非凡さがたのもしく感じられた。

『タイガー・ウッズは今世界でゴルフの英雄のように言われていますが、ここにおられる3人の先生たちは、かつて私たちが40年前には、やはり神様のように思った立派なプロの先生です。この人たちに教わって下さい』と新井委員長のユニークな紹介に、子供たちの神妙で緊張した顔付きとは逆に、両親たちからはヤンヤの拍手だ。

アウト・ドア・スポーツとしてゴルフの人気は年々増大している。親から子へ、そして孫へと健全なスポーツとして正しいゴルフ道を学ばせるこ



隣では、石井さんがアドレスの基本をコーチ



林さんのいつものがらのユーモアあふれるレッスン

とがジュニア教育の目的、関東オープンが新しい原点を求めて数々のイベントを行うこの大会の意義は、その意味では極めて大きな成功への道を歩んでいるといえる。

今年もUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)に対して、1,106万348円、茨城県社会福祉協議会に100万、山方町に100万、大宮町奨学金に100万が寄付された。UNHCRに関わりをもつて6年目、世界には約3,000万人もの難民がいるといわれており、この不幸な人々への援助の一部



スタート前にチャリティーする横山選手 善行が優勝につながった?

として、平和で豊かな日本で開催される関東オープンの収益の中からチャリティーとして贈り続けられてきた。会場内に設けられたチャリティーボックスの前で足を止め、その善意を投げ入れるギャラリーも増えてきた。多くの人たちに支えられた関東オープン、いろいろな意味を包んで今年も盛況裡に終始した。

設営に当たったコース側の関係者はもとより、運営に協力された多くのボランティアの方々に心から敬意を表したい。



古賀副理事長よりUNHCRトロロー氏に寄金を授与

平成9年度 国連難民救済基金口座収支計算予定表

平成9年9月5日現在

◆収入

個別寄付金(敬称略)

法人

プロゴルフ協会	¥3,000,000
千葉県ゴルフ協会	¥1,000,000
千葉県アマチュアゴルフ協会	¥10,000
スズキ徽章	¥30,000

個人

栃木県知事杯参加者	¥1,319,000
サトウタイブ	¥30,000
長野県レディスチャリティー	¥100,000
坂本正美	¥50,000
竹村昭雄	¥100,000
堤 好潤	¥50,000
中島町子	¥50,000

加盟倶楽部寄付金(271倶楽部)	¥9,832,335
水戸グリーンチャリティーボックス	¥60,348
その他	¥20,911
8年度繰越金	¥5,752,933

収入合計 ¥21,404,987

※(1)第一倶楽部最高寄付額 茨城ゴルフ倶楽部 ¥604,400
※(2)グループ倶楽部最高寄付額 日東興業11倶楽部 ¥2,868,307

◆支出

寄付金

国連難民高等弁務官事務所	¥11,060,348
茨城県	¥1,000,000
山方町	¥1,000,000
大宮町	¥1,000,000
チャリティー関連経費(予定)	¥2,100,000

支出合計 ¥16,160,348

10年度繰越金 ¥5,244,639

平成9年度(第48回) 関東オープンゴルフ選手権競技成績表

順位	選手名	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
		アウト	イン	計	アウト	イン	計	アウト	イン	計	アウト	イン	計	
1	横山 明仁	34	35	69	35	35	70	36	35	71	34	33	67	277
2	#北島 泰介	34	38	72	32	36	68	36	33	69	34	35	69	278
3	室田 淳	34	37	71	33	35	68	35	37	72	34	34	68	279
4	横田 真一	34	37	71	35	34	69	37	36	73	32	36	68	281
4	須貝 昇	36	37	73	32	33	65	36	36	72	36	35	71	281
6	白浜 育男	33	38	71	32	35	67	35	38	73	36	35	71	282
7	高松 厚	38	38	76	33	37	70	33	36	69	33	35	68	283
7	片山 晋興	35	36	71	36	37	73	34	37	71	34	34	68	283
7	G.MEYER	34	38	72	35	33	68	36	37	73	33	37	70	283
10	#桑原 佳彦	37	39	76	36	29	65	36	37	73	34	36	70	284
11	福沢 孝秋	34	35	69	32	34	66	38	38	76	35	39	74	285
12	倉本 泰信	38	38	76	36	36	72	32	38	70	34	34	68	286
12	須藤 聡明	36	33	69	37	38	75	35	35	70	35	37	72	286
12	湯原 信光	36	37	73	35	37	72	34	33	67	34	40	74	286
15	池内 信治	37	35	72	35	39	74	36	36	72	36	33	69	287
15	佐々木 均	32	40	72	32	37	69	34	40	74	36	36	72	287
15	久保 勝美	36	35	71	35	39	74	36	35	71	36	35	71	287
15	*矢野 東	36	35	71	33	37	70	34	41	75	36	35	71	287
15	福永 和宏	33	37	70	36	36	72	38	36	74	36	35	71	287
15	川岸 良兼	33	37	70	36	36	72	34	37	71	36	38	74	287
15	*中島 雅生	36	37	73	34	37	71	33	40	73	35	35	70	287
22	芹沢 大介	36	34	70	35	34	69	36	39	75	35	39	74	288
22	#星 清	35	36	71	35	38	73	32	37	69	37	38	75	288
22	稲垣 太成	39	34	73	33	36	69	35	42	77	34	35	69	288
22	比嘉 勉	38	35	73	34	37	71	36	37	73	34	37	71	288
22	丸山 智弘	35	39	74	37	34	71	32	37	69	36	38	74	288
27	牧野 裕	33	37	70	34	38	72	36	38	74	38	35	73	289
28	宮本 勝昌	39	39	78	34	36	70	33	39	72	34	36	70	290
28	小達 敏昭	36	36	72	36	38	74	34	37	71	36	37	73	290
28	斉藤 義勝	35	39	74	35	38	73	37	37	74	33	36	69	290
28	S.HOLMES	38	36	74	36	36	72	34	40	74	34	36	70	290
28	*小林 正則	34	35	69	40	39	79	35	35	70	34	38	72	290
28	藤田 寛之	36	38	74	33	37	70	38	35	73	35	38	73	290
28	鈴木 弘一	38	38	76	38	34	72	37	33	70	35	37	72	290
35	#木下 透	33	37	70	37	39	76	37	37	74	35	36	71	291
35	藤本あきら	36	38	74	36	36	72	36	38	74	35	36	71	291
35	佐藤 剛平	39	36	75	35	34	69	35	39	74	36	37	73	291
35	横島 由一	36	36	72	37	38	75	39	35	74	34	36	70	291
35	楢山 敏行	36	39	75	33	35	68	37	38	75	34	39	73	291
35	小山内 護	39	34	73	31	41	72	36	36	72	35	39	74	291
41	細谷 典生	39	35	74	34	35	69	38	40	78	34	37	71	292
41	白石 達哉	36	37	73	36	34	70	37	39	76	37	36	73	292
41	秋葉 真一	39	34	73	34	39	73	36	35	71	36	39	75	292
41	奥田 和也	37	33	70	35	39	74	33	35	68	40	40	80	292
45	*細川 和也	36	38	74	35	37	72	38	35	73	36	38	74	293
45	*石井 保行	35	38	73	35	40	75	39	37	76	36	33	69	293
45	A.GILLIGAN	35	38	73	31	42	73	37	37	74	36	37	73	293
45	金井 清一	38	34	72	35	37	72	36	39	75	36	38	74	293
45	安田 春雄	35	36	71	36	36	72	36	40	76	35	39	74	293
50	宮里 彰一	40	36	76	34	37	71	36	38	74	39	34	73	294
50	羽野 隆則	41	35	76	37	35	72	37	35	72	35	39	74	294
50	#五十嵐雄二	35	37	72	35	34	69	40	39	79	36	38	74	294
50	山添 昌良	34	39	73	37	37	74	37	40	77	35	35	70	294
50	野口裕樹夫	35	37	72	37	36	73	36	37	73	37	39	76	294
55	C.CHERNOCK	34	36	70	33	39	72	36	44	80	33	40	73	295
55	#原川 光則	36	37	73	37	36	73	35	41	76	36	37	73	295
57	#高宮 秀樹	36	38	74	34	38	72	36	39	75	36	39	75	296
57	*館野 成毅	39	37	76	33	37	70	34	39	73	39	38	77	296
57	篠崎 紀夫	37	36	73	35	40	75	35	37	72	37	39	76	296
60	佐野 修一	37	36	73	35	38	73	37	37	74	37	40	77	297
61	入野 太	37	35	72	35	39	74	39	39	78	35	39	74	298
62	*太田 直己	33	37	70	37	38	75	40	37	77	37	41	78	300
63	*初見 充宣	38	37	75	38	35	73	38	39	77	37	39	76	301
64	#神谷 浩一	37	38	75	38	35	73	38	38	76	38	40	78	302
64	#山原 孝尋	36	37	73	37	38	75	37	41	78	36	40	76	302
64	(兼権) 阪田 哲男													

*印はアマチュア：#印はマンデー通過選手

マンデーには
本選にない面白さがある

文・塩田 正 (KGA広報委員)

写真・舟橋一芳 (KGA広報委員)

関東オープンゴルフ選手権の予選競技(マンデー)は9月1日に行われたが、今年のこの競技は、昨年の実績(日本オープン出場1名、地区オープン出場7名)が目立ったせいか、ひときわ盛り上がりのある熱戦を展開した。その激戦の中から異色選手、将来の有望選手の声をひろってみよう。

●●● 物怖じしない若手プレーヤー ●●●

出場選手の中から、イキのいい選手を探してみると、まず目についたのが、今野康晴選手だ。昨年日本大学(ゴルフ部)を卒業し、その年、プロテストを一発で合格したという一級の実力を持つ選手である。

「なにしろ、去年の宮本勝昌選手の活躍がありましたからね。いまは自分も…」という気持ちでいっぱいですよ。このマンデーを足がかりに関東オ

ーブン本選、日本オープンというデラックス街道を突き進む夢を見たいと思っています」

と、宮本選手に続けとばかり、強い意欲を見せる。今野選手の目標とする宮本選手といえは、昨年の関東オープンのマンデーに出場、もちろん楽々と予選を通過、関東オープンも余勢を駆って7位タイ、日本オープンでも堂々と7位を占めた選手である。このマンデーに出場した選手の中にも、今野選手同様、昨年の宮本選手を目標にしてやってきた選手はかなりいたはずである。こういう欲望をギラギラさせてこのマンデーに臨むのだから、大



集計所前のスコア速報版では、本選出場のカットラインを予想しながら一喜一憂



今野康晴選手



インタビューを受ける村上君

会が盛り上がりがないはずがない。

若くて、イキがいいといえば、この選手の右に出る人はいない。その若手選手は、ゴルフの名門高校、水城高（茨城県）1年、15歳という村上史晃君だ。しかし、今年全国制覇した水城高のレギュラーというから実力は相当のものとみてよい。それに度胸のほうも大人顔負けといったところがある。たいていの高校生なら、プロとまわって非常に参考になったというところなのだが、村上君は、「プロと一緒にいても、あまり参考にならなかった」

といったのける。心臓の方もかなりのものだ。しかし、この少年にはそう言わせるだけの実力も備えているのだから文句のつけようがないし、こうして率直に自分を表現するのも、心の弱さを防ぐ防波堤の意味を持たせているのかもしれない。こういう少年ゴルファーの出現によって、関東オープンのマンデーもますますその幅を広げていくのはたしかである。

●●● 老練ブロー一年生の目標 ●●●

一方、こちらはあまりイキがいいとはいえないが、35歳にして初めてプロテストに合格した老練プロがマンデーに挑戦している。中崎靖選手がその人で実に17年目にして念願がかなったという努力家である。

中崎選手はさすがに前記2選手とは違ってぐっと控え目な発言をする。

「このマンデーが関東オープンから日本オープンへ

と道が開けているのは知っていますが、しかし日本オープンまではとてもいけるとは思っておりません。自分なりのプレーができればそれで十分です」

と、このマンデーが自分を試す絶好の試金石と見ている。しかし、だからといってのんびりとマンデーにやってきたわけではない。前記今野、村上両選手が口を揃えて「プレッシャーなんてまったくありません」といっているのに対して中崎選手は「すごい重圧があります」と顔を紅潮させて話す。35歳とは思えない

初々しさだ。そしてさらにこう付け加える。

「一度、こうした大きな試合に出ると、度胸もすわってきて、目指す予選会にもプラスになると思っています」

と、ツアーのプロを目指す予選会のためにマンデーを踏み台にしての出場だということである。

いずれにしてもマンデーにはピチピチした若鮎のようなプレーヤーから老練といわれる選手までが入り交じっていて、それがそれぞれの大きな目標に向かって激闘を展開している。「だからマンデーには本選と違った面白さがある」とギャラリーの玄人筋の目はこう見るが、マンデーを取材してみて、この言葉がいつまでも耳に残っていてならない。



中崎靖選手

心配のタネだったベントのグリーン 海老原寿人（水戸グリーンカントリークラブ社長）

自分のコースでこんなに大きな大会の予選に出場できるなんてまるで夢のようです。設計もやり、管理にも目を光らせている毎日だけに大会を迎えるまでは不安でしかたありませんでした。

とくに今年は、7月の暑さが大変だった上に雨も降らなかったで、ベントグリーンの管理は人一倍苦労しました。池の水を汲み上げ散水するのですが、水が冷えている早朝とか夜おそくやるなど、従業員もだいが気を遣っていたようです。

一緒にまわった選手たちからも、これまでに仕上げるには大変だったでしょう、というお誉めの言葉を頂きましたが、まずまずの及第点でほっとしております。（談）



スタート前の海老原さん まだ余裕の笑顔
支配人の高村さんは心配顔

平成9年度(第48回) 関東オープンゴルフ選手権予選競技／順位表

期日：平成9年9月1日(月)

場所：水戸グリーンカントリークラブ 山方コース

アマチュアの部

ランク	スコア	氏 名
1	72	堀江 隆
2	73	村上 史晃
3	74	大輪 広明
4	76	安島 大三
4	76	瀬谷富士男
6	78	西野 義雄
6	78	根本 太清
6	78	矢吹 龍一
9	79	上村 努
9	79	柳橋 一之
11	80	五町 達也
11	80	三塚 康輝
11	80	神永 勝男
14	81	入野 康昭
15	82	石田日出夫
16	83	佐藤 正巳
16	83	斉藤 大将
18	84	小野 進
18	84	平賀 俊哉
18	84	坂本 勝
21	85	倉持 茂
21	85	早瀬 忠男
23	86	富田 文夫
23	86	盛田 行則
23	86	海老原寿人
23	86	小野 靖
23	86	小林 保夫
23	86	市川 義勝
29	88	柳山 暢英
30	89	中村 保
31	90	安原 正芳
31	90	飯田 敏夫
33	94	小川 力

棄権 佐藤 敏弘
失格 鈴木 幸夫

プロの部

ランク	スコア	氏 名
1	68	古川 尚樹
2	70	星 清
2	70	木下 透
2	70	栗原 雅樹
5	71	小泉 清一
5	71	丸山 大輔
5	71	原川 光則
5	71	岡本 隆
5	71	小侯 武士
5	71	川原 希
11	72	桑原 佳彦
11	72	北島 泰介
11	72	具 滋勲
11	72	中瀬 芳治
11	72	山本 治人
11	72	横山 正道
17	73	五十嵐雄二
17	73	長谷川雄一
17	73	西川 達彦
17	73	伊藤 全
17	73	初見 充宣
17	73	太田 慶治
17	73	鈴木 正男
17	73	高宮 秀樹
17	73	永田 浩一
17	73	山原 孝尋
17	73	神谷 浩一
28	74	南條 康晴
28	74	林 武司
28	74	植松 富久
28	74	立山 光広
28	74	園木 浩史
28	74	寺川 吉彦
28	74	三坂 公治
28	74	中山 徹
28	74	川村 正己
28	74	中村 直俊
28	74	中根 初男

ランク	スコア	氏 名
39	75	箱崎 博一
39	75	秋山 将司
39	75	荒井 雅彦
39	75	大庭 長人
39	75	村上 基
39	75	森久保克己
39	75	荒木 光雄
45	76	飯塚信太郎
45	76	鈴木 由浩
45	76	松岡 秀樹
45	76	牛山 正則
45	76	丸山 仁義
45	76	平林 孝一
45	76	高木 克仁
45	76	古谷 務
45	76	田口 康祐
45	76	長峰 全
45	76	川崎 憲治
57	77	野仲 茂
57	77	青柳 公也
57	77	久保田敏憲
57	77	信田 和成
57	77	西谷 元司
57	77	荻野 博見
57	77	加藤 雄二
57	77	森田 幸春
57	77	寄川 宏
66	78	南條 勝美
66	78	並木 俊明
66	78	阿久澤保弘
66	78	栗田 祐二
66	78	古木 真二
66	78	下條 富吉
66	78	林 大作
66	78	大野 雅幸
66	78	瀬倉 孝則
66	78	犀川 秀美
66	78	貝畑 洋

ランク	スコア	氏 名
66	78	平山 徳男
66	78	荻野勇三郎
66	78	土田オサム
66	78	小野 精二
66	78	小野 唯明
66	78	森田 直樹
66	78	中村 賢司
66	78	上村 司
85	79	向後 聡一
85	79	古賀 盛道
85	79	伊藤 正治
85	79	遠藤 慎一
85	79	美浦 修
85	79	高橋 一仁
85	79	菊川 秀喜
92	80	橋爪 信彦
92	80	市川 幹雄
92	80	杉岡 立志
92	80	榎本 弘好
92	80	深沢 幸雄
92	80	深沢 功
92	80	中崎 靖
99	81	石澤 幸夫
99	81	駒崎 誠
99	81	松嶋 浩一
99	81	原田 彰
99	81	梶川 武
99	81	山口 通
105	82	会田 信介
105	82	阿久根和雄
105	82	小野寺 誠
108	83	山中 泰弘
109	85	後藤 誠
109	85	並木 一雄
111	87	中山 勲
112	88	加茂 靖倫

棄権 小林 憲正

座 談 会

“いざ国体”

茨城県、埼玉県の場合には

出席者 根本太清（茨城県ゴルフ連盟副理事長）

西村仁一（埼玉県ゴルフ協会理事長）

司 会 高橋正孝（KGA広報委員長）

関東地区1都10県にアマチュアゴルフ団体が組織された。（東京は10年4月設立予定）。平成10年の公開競技、11年の正式種目に向けて各都県において活動に入っているが、もう一つははっきりしないのがその実情。そこで今号では、茨城、埼玉のリーダーに出席いただいて、ざっくばらんに語っていただく。

高橋 国体が間近に迫っております。（平成10年、神奈川・公開競技、平成11年熊本の正式種目）そこで今日は、茨城県ゴルフ連盟・根本太清副理事長、埼玉県ゴルフ協会・西村仁一理事長のお二人に、国体に向けての活動状況、問題点などをお話していただきたいと思います。

先ず根本さん、ブレ国体とも言うべき、福島、広島、大阪の記念大会の選手選抜は具体的にどんな方法で行いましたか。

根本 ご承知のように、選手は成年男女、ジュニアの部があるわけですが、前哨戦と言うべき、昨年の広島記念大会の際には予選を4回、今年の大阪記念大会のためには予選を3回やり、代表選手を選びました。

ジュニアは正式種目となる熊本国体から始まりますが、茨城県には有力校がけっこうありますので、高等学校ゴルフ連盟の先生方と相談しながら具体案を作りたいと思います。

高橋 その予選会は既存の、例えば茨城県アマはその予選会としたわけですか。

根本 いや、それとは別に国体のための独自の予選会です。

高橋 何人ぐらい出場しました。

根本 最初は100名ぐらいでした。

高橋 そうですか。で、エントリー方法はどんなってます。

根本 茨城ゴルフ連盟に加入している市町村ゴル

フ協会から有力選手をピックアップし、それと、推薦の形を採りました。また、私たちが主催しております各種試合の成績上位者にも参加資格を与えております。

高橋 そうすると基本的に市町村ゴルフ協会の会員ですね。各市町村何名という出場枠を設けているのですか。

根本 いえ、それはありません。ただ関東月例のように予選会はポイント制をとっておりまして、その獲得点の上位者、それに研修会メンバー50名の上位者と一緒にして、決勝、つまり最終選抜競技を行いました。

高橋 研修会の入会資格はどうなっています。

根本 特別に定めておりません。会員の推薦があれば誰でも入会できます。もともと、私たちの連盟はこの研修会を基礎にしてスタートしておりまして、もう15年になります。実技だけでなくルール・マナーなどいろいろ研修を重ねてまいりました。

高橋 では、次に埼玉県の状況をお話しいたしましょうか。

西村 私たちも研修会を組織しておりまして、これは年6回行っており、やはりポイント制を採っております。それに主催競技である県ゴルフ選手権、埼玉オープン、また新聞社の主催である埼玉県アマ、こういった競技の上位者の直近の成績を見て、協会の競技委員会が判断して選抜してまいりました。

しかし、公開競技、正式種目となりますと、こ

の方法は採れませんので、別の方法で選抜すべく、検討を始めております。



アマ団体は一日にして成らず

高橋 両県とも国体に向けて、着々と準備を進めておられることがよくわかりました。

しかし、組織をここまで固めるのは一朝一夕にできたことではないと思います。仄聞するところによりますと、各々の県内ゴルフ場、支配人会とはスタート時にかなりの軋轢があったとか。その辺のあたりをお話しいただきませんか。

西村 埼玉の場合は県の体育課の指導の下につくりました。具体的に県内にある九つの教育委員会が各々の管轄する市のゴルフ愛好家を、ともかく2人でも3人でも集ままして話をし、一緒になって設立して県ゴルフ協会総会を開いたんです。

この時すでに、いくつかの市にはゴルフ団体があったのですが、既存、新設を問わずまとめてしまった。うちの市にはないという教育委員は地元に戻って県命に組織作りを働きかけた。

このような経過の後、県協会ができたわけですが、JGAに“埼玉県にこんな組織を作った、加盟させてほしい”と申し入れたのです。うかつにもJGA、KGAとはどんな組織が十分わかっていなかったのです。（笑）

それで、県内のゴルフ場、支配人から大変なお小言をちょうだいした。（笑）落ち着いたのはやっ



高橋広報委員長

支配人会の会長さんにも協会役員にご就任いただき、順調に活動しております。

根本 茨城の場合は先ほどお話ししましたように研修会からスタートしたわけですが、これが当初は県ゴルフ場協議会、支配人会から白い目で見られました。と、言いますのは要は彼らは圧力団体なんだ、研修会をやるからメンバー並の料金でプレーさせろと言ったとか言わないとか誤解されたのです。

もちろん、私たち幹部としましては、なんとか安くプレーさせてほしいと思い、正式の場でお願いしたことはありますが、会員が勝手にそんな話をするのは厳にいましめていたのです。

（佐藤事務局長） ゴルフ連盟の会員になれば県内のゴルフ場は会員メンバー扱いでプレーできる、JGAハンディキャップも取得することができる…といったメリットをかかげて会員募集を行ったという話をきいたことがありますよ。それで、ゴルフ場、支配人会が怒ってしまった。

根本 いや、そんなことはありません。初耳ですよ。でも誤解されたことは事実でして、私たちはここはまじめに一生懸命努力して、いろんな競技会を開き、実態を見ていただこうと考えて活動を続けてまいりました。なるほど、実際は違うということが、おわかりいただいたのは、ようやくここ2、3年のことです。今日では埼玉県と同じように、KGA、JGAの役員、理事の皆さんにも参加いただいております。



いちばんの悩みは高いプレー代

高橋 お二人の話をうかがいますと、組織作りの主体が、県サイド、プレーヤーサイドそれにゴルフ場サイドの三つに分類できそうですね。どれが良いとか悪いとかでなく、その県その県のゴルフ界事情、また必要性の違いによって採るべき方法が違っている。両県は歴史の古いところのようですが、ここ2、3年、JGA、KGAがリードして組織作りしてきた県はどちらかというと、ゴルフ場サイドといえる。しかし、目指すところは同じであって、これまでのわだかまりを捨てて、力を合わ

せて活動してほしいものです。

ところで、日常の活動で今いちばん困っている問題はなんですか。

根本 プレー代が高いことです。なんとかもっと低廉な料金でプレーできないものか、これがいちばんの悩みです。とくに茨城県の場合、県南と県北では料金面の格差があり頭が痛い。会員から“もっと安いところで開催してよ”とつき上げられている。私たちもゴルフ場の皆さんに一生懸命お願いしているのですが、競技施設が私企業である限り、自づと限界があるわけでして、ここは行政サイドとしても考えてほしいものです。例えば県団体主催競技ぐらいは利用税を免税にしてほしい。

西村 同感ですね。埼玉の場合、年間の開催スケジュールをあらかじめ決め、開催コースについては支配人会の皆さんにも加わっていただいて選定している。しかし、特別割引をお願いできるゴルフ場とそうでないところがある。私たちとしては、公平にゴルフ場を使わせていただくことと、料金も公平に割引いていただけないものかと、お願いしたいのですが。

高橋 一人のゴルフ場経営者としての私には耳の痛いお話でございまして…(笑)しかし、各県、各ゴルフ場それぞれ事情が異なるとは言え、これからは協力してゴルフ振興に当たらざるを得ないわけでして、ゴルフ関連団体が一致して歩むことが必要ですね。

さて、プレー料金の他にも組織としての財政問題は当然おありのことと思います。そこでおうかがいしたいのは、来年4月より実施することが決まっております競技者登録料(国体及びその予選、また県団体の指定する競技に出場する者はJGAに1,000円を納入して競技者登録をしなければならない)について、ご意見を出していただきたい。

明確にしてほしい競技者登録制度

西村 私はKGAの体協委員も務めておりますが、この問題はこれまで何度も討議しました。しかし未だ明確な結論、合意に達していない。というのも、JGAの方針が今ひとつはっきりしないからで



西村仁一さん

す。“国体及び国体予選”ということですが、例えば埼玉ゴルフ選手権には1,500人も出場する。これを予選競技と考えれば、1,500人登録しなければならない。しかし、県によっては最終選抜、つまり決勝だけを国体予選競技と受けとめているところもある。そうするとせいぜい200人弱でしょう。つまりどっちなんだということになる。それを各都県が勝手に決めていいことになると、200人から1,500人というとてもない巾が生じ、当然納入すべき登録料約150万円から20万円という大きな差が出ますよ。たしかに上部団体であるJGA、KGAに体協組織の運営費が一切ないというのはおかしいし、お互いに困ります。ですから、この登録料を費用の一部に充当するのは当然のことと思います。もう、来年には予選競技を行わなければならない。早く明確にしてほしいものです。今から各市町村に通知しておかないと間に合いません。

根本 同感です。それと予選会の開催方法、これでもできることなら統一する方法で開催したいものですね。まさかベリアでやろうなんて県はないでしょうが。(笑)これも中央スポーツ団体としてのJGA、その傘下のKGAとしてマニュアルのようなものを作ってほしいものです。

高橋 その点につきましては、ここにKGA国体小委員会がまとめた※「国体選手最終選抜に関する提案書」がございます。これは根本さんのおっしゃったことと同じ問題意識の下に、国体に関係する、競技、ハンディ、ジュニア、体協、事務局の委員長が集まってまとめた答申書です。委員長会

議、常務理事会に上程しKGA体協委員会に提案することになります。

西村 (黙読の後)まさにこの提案書のとうりです。JGA、KGAの協力指導に従って、開催することにつきますと思います。

根本 そうですよ。このようにしていただいた方が、私たちもやり易い。

西村 私としては、地区連盟にしっかりとリーダーシップをとっていただいて競技の中身まで触れて指導いただけることを強く要望したい。

望まれる県毎のジュニア育成活動

高橋 ここにありますように私たちKGAは、60年間にわたり積み重ねてきた正しいゴルフの普及のためのノウハウを生かして皆さんに協力したいと考えているわけでして、今日ご出席の両県だけでなく、関東1都10県の皆様にもご賛同いただきたいと念願しております。

ではここで話題を変えて、ジュニア育成問題に触れてみましょう。

ご承知のように、ジュニア育成はゴルフに限らず、あらゆるスポーツ団体の重要事です。JGA、KGAは永年この問題に取り組んでおりますが、(徐々にいい方向に進んでいるが)もう一つ盛り上がり欠けております。私は、ゴルフに関係する全団体が協力して育成に当たる必要があると思っております。そこで、皆さんにもご協力いただきたいのですが、すでに育成活動に入っているとされる両県に具体的にお話しいただきたい。

西村 私たちは各市町村にジュニア育成委員会を



設置しており、各地の練習場に子どもたちを集めて定期的にレッスンをっております。そして、交渉中ですが、県営ゴルフ場に3時以降には無料開放していただけないかお願いしております。もちろん一般のゴルフ場でもお願いできればと思っておりますが、まだそこまではいっておりません。
根本 高校生が社会人になっていちばん多くやりたいスポーツがゴルフなんです。しかし、仲々それができないのが実状です。私は水戸商業の出身なんですが、実業校でありながら社会に出ていちばん必要とされるゴルフ部がないんです。ですから私は県内の高校にゴルフクラブを作りなさいと一生懸命働きかけております。体育の正課にしてほしいのですよ。

高橋 KGAはこれまでジュニアスクール・関東ジュニア、加盟倶楽部ゴルフ教室といった育成活動を行ってまいりましたが、新しい試みとして、「ジュニア育成協議会」を設けたいと考えております。これは、KGA、支配人会、練習場連盟、パブリック協会、高ゴ連、体協、用品用具協会、プロ協といった関連団体が一致団結してジュニア育成に従事しようという計画なんです。各々の団体が各々の特色を生かして協力することが大事と思うのですよ。できれば共通の「ジュニア会員証」を発行して、各々の団体が優待策を採る…

西村・根本 すばらしいことです。ぜひ実現してほしいものです。私たちも参加して、協力したい。

KGAに期待するもの

高橋 最後にKGAに皆さんは何を望むか、期待し



ているか、またこれからの抱負などをお話しいただいて締めくくりたいと思います。

根本 先ほども話したように、加盟倶楽部の皆さんに理解いただいて、もっと「門戸開放」をしてほしい。例えば、年1回でも2回でもいいから、土曜、日曜を市民ゴルフのために開放いただけないものか。1回のプレー代が、25,000円～30,000円では普通の人には月1～2回のプレーが限度です。ですから、料金が安いとなると、車で1時間以上かかっても4人で安い福島県の方に行っちゃう。それが仮りに車で30分以内のゴルフ場で日曜日に2万円でプレーできるとなれば自づとそちらに足が向きますよ。

西村 私たちはJGA、KGAに加盟しているわけですから、将来、KGA主催競技並の費用でプレーできるようにしてほしい。そのために私たちもKGA、JGAに会費を収めてもいいと考えています。

それと、先ほども触れました利用税撤廃も、県単位で運動するよりも、KGA、JGAと一緒にやった方が効果的だと思います。その方が筋も通る。

根本 プレーヤーとして、あそこのゴルフ場に行きたい、ここのゴルフ場でプレーしたいという願望はみんな持っている。市民の日とか県民の日とかに、安い料金で解放していただくと、一般ゴルファーも「おれの地区のゴルフ場」という意識が芽生えてくる。これは大事なことだと思うんです。



根本太清さん

高橋 仮りにそうしたところで、ゴルフ場として困るのはビジターの素性といえますか、どんな人なのかチェックしようがないという問題がある。

西村 支配人会からその問題が提起されたことがあります。その場合は県協会が一応のチェックすることも考えられます。たしかにゴルフ倶楽部の心配はよくわかります。誰が来場するかわからないのでは不安になるのは当然です。

高橋 これからはKGAも含めて、県毎にゴルフ場、支配人会、体協…といったゴルフ関連団体が横断的な関係を作って連携していく必要がありますね。このあたりを今日の結論といたしましょうか。長時間ありがとうございました。

※「国体選手選抜方法」に関する提案

KGA国体小委員会

競技委員長 新井 安寿／ハンディキャップ委員長 渡邊満之助

ジュニア育成委員長 紅露 昭通／体協委員長 内田 盛雄／事務局長 佐藤 清

熊本国体（正式種目）、神奈川国体（公開競技）を目前に控え、各都県における選手選抜方法について、本国体小委員会として、以下の提案をしたい。

もとより、国体選手選抜（予選競技）は、各都県体育協会、アマチュアゴルフ団体が主催するところであり、地区連盟は後援者にすぎない。したがって、都県アマチュア団体、JGAの要請に従って関わるべきであることは言うまでもない。

現在、このことが今ひとつ明確になっておらず、県によっては（あるいはJGA）、差し出がましい行為に写るかもし

れない。しかし、私たちが懸念しているのは、国体の名のもとに、「別種のゴルフ」が出現することである。

また、各都県の競技が各々の事情に応じて、独自のルール（競技のみならず、運営も）の下で開催されることを懸念している。

例えば、A県においては、スタート時刻に5分遅刻したものを、20打を課して、出場させ、B県においては、失格とするようなことも、まま起こりうることである。上記はごく瑣末な一例にすぎない。しかし、世界共通のゴルフルールは、ある意味で瑣末なケースの裁定を行っているとも言

い得る。

私たちKGA分科委員は、永年「正しいゴルフ」の普及と啓蒙をその責務としてきた。ここで、培われた経験と知識を「国体ゴルフ」に役立ててほしいと念願する。

1.各都県主催の「県アマ」の実情

本国体小委員会に先立ち、KGA体協委員会が開催（7月2日）されたが、標題競技は別資①のように、とり行われている。KGAは後援者に名前をつらねているが、いわば「名前貸し」であり、現地に赴いて実務に携わっていない。ルール上のトラブルについて問い合わせを受け、「便利屋」的に回答をしているにすぎない。大半が地元紙の主催であり、いわば、「事業」として開催されており、KGA主催競技のように厳格なルールに従って実施はされていないと推測される。KGAでは、後援申請の際提出された実施規定のチェックを行っているが、会場の特別ルールについては、未提出（ノーチェック）である。このことは、「ルールは一つ」という原則からいえば問題であるが、現状を考えるにただちに「改正要望・実施」は無理であり、そこまで厳格にすべきかどうかといった問題もある。

つまり、普段の「プレー」に重きをおいたゴルフであり、「競技性」をメインとするそれと異なっていることや得ないと思われるのが現実であろう。（本委員会でも意見の対立するところであった。）

2.都県国体選手最終選抜競技

体協委員会において、各都県における「国体選手選抜方法」について調査したところ、個別に予選、決勝を開催して選抜するという県は、今のところ皆無であった。

前章の各都県アマ（男女）の上位者を集めて最終選抜を行いたいという、いわば、「上積み方式」を採用ところがほとんどであった。したがって、当委員会としてはこの「最終選抜競技」のあり方について論議し、以下の合意に達した。

- ①1都10県における「最終選抜競技」は統一された実施規定、特別ルールに従って開催すべきである。
- ②実施規定、ローカルルールは、毎年JGAより提示される「特別ルール」規定に従い、各会場において策定する。
- ③策定にあたっては、都県団体の要請に従い、KGA競技委員（ルーリング担当委員）を派遣し、各都県競技委員、開催ゴルフ場競技委員と協力して行う。
- ④KGA競技委員は、各都県競技委員、関係委員のために、講習会、研修会を開催する。
- ⑤上記講習会においては、ゴルフ規則、運営規則と行った実務面の研修を行う。
- ⑥各都県にKGA支部設置が実現した際には、各都県にKGAと同じ分科委員会を設置し、連携して事に当たる。

3.少年男女（ジュニア）の選抜方法について

現在の都県別ジュニア会員数は別資②のとうりである。もとより、JGAジュニア会員のみを対象とした国体選手選抜は許されない。となると、まずは各都県ジュニア体協委員の募集を行い、ジュニアゴルファー育成に努めることが

必要である。

現在、神奈川、埼玉の両県のみ、ジュニア会員制度がある。そして、都県別に選手選抜を行うことが理想であるが、現状では無理がある。そのために、成年男女と同じように、「上積み方式」を採用するを得ないと判断する。

具体的には、

各都県アマチュアゴルフ選手権少年の部の上位者とし

①KGAジュニアゴルフ選手権の上位者

②都県高ゴ連選手権の上位者

を参考にし、最終選抜を行うことが現況における良策であろう。

（高ゴ連主催の競技は、全日制高校生だけの選手権試合であり、国体の原則に悖る）

5.体協委員のJGAHdcpについて

国体出場資格の基本原則は「日本国籍を有する」ことであり、その費用は「低廉」であるとされている。

しかし、例えば東京都のように、ゴルフ場が19（内KGA加盟は14）しかなく、膨大なゴルフ人口を抱えているところは、なんらかの方法によって、参加資格に枠をはめざるを得ない。

他競技団体（射撃、ヨット）に実施されている「バッジテスト」がこれにあたる。JGAHdcpはこの「バッジテスト」であり、第1次予選の意味を兼ねているといえよう。各都県によって状況は異なるにしても、一定のJGAHdcp取得者に参加を認めることが必要であり、そのためには都道府県競技団体所属会員用JGAハンディキャップ規定に基づく「Hdcp査定システム」の構築については、JGAHdcp委員会、理事会において決定済みである。KGAにおいても、いわゆる「グリーンシステム」の採用を促進することが火急事と言えよう。

6.財政問題について

JGAの「寄付行為」には、体協会員からの入会費、年会費について「徴収しない」ことを規定しているが、このままでよいかどうか、はなはだ疑問視せざるを得ないと考えられる。指摘するまでもなく、JGA、KGAの財政は加盟倶楽部の年会費によって成り立っており、これを体協委員の諸事業に充当することはおかしいと言える。

このことに関しては、KGA体協委員会においても問題提起がなされており、必要経費の負担は自ら行うべきとの意見も出ている。KGA特別委員会においては、「JGAからの委託事業と考え、応分の委託費を請求する。」ことを答申しているが、各地区連盟とも同様の状況下であり、JGAとして、早急に審議検討されることを望みたい。

（開催日：平成9年7月 7日）

：平成9年8月29日）

：平成9年9月16日）

この提案は9月18日の常務理事会において承認され、翌19日の体協委員会においても承認されました。

佐賀は “ゴルフ先進県”

佐賀県には20のゴルフ場（内、九州ゴルフ連盟加盟倶楽部は14）がある。年間入場者は83万人、こじまりとしたゴルフ界である。

しかし、それだけに大変にまとまりが良く、今年の第4回「佐賀県アマチュアゴルフ選手権大会」も、県内の各ゴルフ団体あがての協力体制で実施された。



主催は（財）佐賀県体育協会と佐賀県ゴルフ協会、後援が佐賀県、佐賀県教育委員会、九州ゴルフ連盟、県内ゴルフ練習場である。

予選は7月20日（日）、14会場で一斉に行われ、今年の出場者は3,732名であった。参加資格は

- ①1997年4月1日以降、佐賀県に在住するアマチュアゴルファー及び県内でゴルフ倶楽部に所属する会員（学生及び児童を除く）
- ②当大会協力倶楽部に於いて、除名処分及び公式競技の出場停止処分を受けているゴルファー、また、ゴルファーとして著しく品位を損なう者は参加を認めない。

である。

ハンディキャップによる制限もない。要はゴルフの好きな人は誰れでもいらっしゃいということである。エントリー費は2,000円、プレー代はメンバー扱いである。



テラスには加盟倶楽部旗



スタートホールにはしゃれたティーフェンス

日の出とともにスタート

ところで、3,732名が14会場となると、1会場平均、267名である。この多人数を1日18ホールでどうやってラウンドさせるのか、また、申込受付はどんな方法を行っているのだろうか。

まず申込方法である。受付開始は5月1日、締切は5月31日である。各ゴルフ場に申込書を400～500枚配布しており、来場者は希望するゴルフ場名を記入し、エントリー費を支払う。各会場一応の定員は200名なので、ほとんどが1週間で満員となる。その後はゴルフ場の事情と判断におまかせし、ギリギリの人数まで参加受け付けするところもある。

だから、300名を超える会場もあり、そこでは、トップスタート午前6時、終了日没前ということになる。

決勝は7部門（男子49歳以下、50歳以上、60歳以上、70歳以上、80歳以上、女子49歳以下、50歳以上）に分かれてチャンピオンの座を争うことになるが、予選ではこの部門別の定員は決められていないので、各会場部門別参加人数より案分比例で決勝出場者数が決まる。（80歳以上は予選免除）

ちなみに、出場者のいちばん多かった「武雄カントリークラブ」の例を記すと、男子49歳以下出場199名、決勝枠19名、50歳以上73名／11名、60歳以上24名／3名、70歳以上3名／1名。女子49歳以下2名／1名、50歳以上7名／1名。合計308名、決勝進出36名であった。

競技運営は会場の競技委員、クラブ従業員の皆さんがあたる。

日の長い九州だからと言えばそれまでだが関東では想像を絶することである。

スコアボードも設置

決勝は土曜、日曜日開催、メンバー扱い

決勝は8月23日（土）、24日（日）であった。会場は佐賀カントリー倶楽部とブリヂストンカントリー倶楽部の2会場で行なわれ、出場者は7部門、447名であった。部門によっては36ホールストロークプレーなので、23日は予選ラウンドとなり、最終24日の決勝ラウンドに駒を進めることになる。

エントリー費は5,000円、ラウンド料金は指定練習日ともメンバー料金（利用税免）である。

競技運営は、後援の九州ゴルフ連盟より委員長1名、委員1名（一瀬 智九州連盟競技委員長、藤原孝喜連盟競技委員）が派遣される。それに県内のゴルフ場支配人20名と、会場倶楽部の委員、従業員の皆さんである。

ちなみに委員の集会時間は午前5時40分、一人の遅刻者もいなかった。

決勝大会から事務局が設置され、地元紙佐賀新聞事業局が司る。実務は5月31日の予選締切日から始まり、プログラム製作、予選決勝競技ドローなどを行なう。

トップスタートは午前7時、ホールアウトは午後2時であった。3時からの表彰式には大会会長金子勝商さん（県ゴルフ協会会長、九州ゴルフ連盟理事長）が列席して行なわれた。

さて、いちばん気になる大会経費であるが収入のエントリー費約1,000万円全てでまかなっているとのこと。（他に、佐賀県より100万円、県ゴルフ協会から100万円の助成金が出る）。

コース使用料は決勝大会のみ、18ホール1日25万円とのことであった。

以上はこの佐賀県アマの収支だけだが、県ゴル



7部門の表彰式準備

フ協会として、入場者より“ゴルフ募金”20円をいただいている。前記のように昨年度は83万の入場者であるから、1,660万円の収入があることになる。そのうち、20%の332万円は協会収入とし、80%の1,328万円は上部団体の佐賀県体育協会に上納している。他競技団体はどうなっているか不明だが、ゴルフ協会が最大スポンサーであることは想像に難くない。

これとは別に、九州ゴルフ連盟は入場者より25円の“連盟協力金”をいただいている。つまり佐賀県では入場者より1回45円をちょうだいしていることになり、その基金をもとに両者が協力してゴルフ振興活動を展開している。

佐賀県ゴルフ界を“特殊例”と見るか、“理想例”と見るか読者の判断にまかせたい。ただはっきり言えることは、九州ゴルフ連盟、佐賀県ゴルフ協会、佐賀県ゴルフ協議会、支配人会、佐賀新聞が協力してアマチュアゴルフ振興に取り組んでいる事実だけはご認識いただきたい。

さすが維新の元勲、大隈重信を生んだ県である。“進取の精神”はゴルフ界にも脈々と生きていた。

（文責・事務局 佐藤）



九州ゴルフ連盟一瀬競技委員長（左）と坂田事務局長（右）の合影

フォト・レポート

夏はジュニアの季節だ

——関東ジュニア選手権、リトルジュニア大会——



●写真 石川博英 (KGA広報委員)●

KGAにとって、夏はジュニアの季節だ。

ジュニアゴルフスクール13会場、関東ジュニア予選、決勝8会場、それに若洲のリトルジュニア大会が加わって9会場……参加者は3,000人ちかい。

その一切の面倒を見るのが、KGAジュニア委員、男女プロ合わせて延べ395名。他に、開催倶楽部、KGA事務局も加えれば、優に1,000名は超える。

このような大ぜいの人たちのボランティア活動に支えられていることを、知るや知らざるや、この夏もジュニアたちは喜々としてクラブを元気いっぱい振りまわしていた。

良き時代のしあわせなジュニアを写真で紹介しよう。



◀関東ジュニア4人のチャンピオン 左より、
小川純一君 (男子12歳～14歳の部)
河瀬賢史君 (男子15歳～17歳の部)
下村真由美さん (女子12歳～14歳の部)
川原由緒さん (女子15歳～17歳の部)



▶リトルジュニア大会の小さなチャンピオンたち 左より、
第3位 大沼孝祐君、優勝 頼所 卓君、優勝 山岸慎太郎君
優勝 本部智子さん、優勝 藤井一世さん、第3位 片野由布さん



今年より12～14歳には委員がスコアラーとして同行



なかには相撲の新弟子まがいの長髪ジュニア

フォト・レポート

(関東ジュニア決勝)



よほどスコアがよかったのか、したり顔



ロングヒッターぞろいのジュニアゆえ、練習場ではウッド使用禁止



“プレーより何倍も疲れるよ”とスコアラー



いつもながらスコアボード前にはわが子の打数に見入る親御さん



平成9年度(第18回)関東ジュニアゴルフ選手権競技成績表

男子15歳～17歳の部

●開催日 平成9年7月31日(木)～8月1日(金)
●会場 武蔵カントリークラブ・笹井コース
7,012ヤード・パー72 36ホールストロークプレー

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド アウト イン 計	第2ラウンド アウト イン 計	合計
1	河瀬 賢史	星 陵 (3)	32 39 71	35 35 70	141
2	坂本 聡	埼玉栄 (1)	38 35 73	33 38 71	144
2	中島 雅生	堀 越 (3)	35 36 71	36 37 73	144
4	村上 史晃	水 城 (1)	35 34 69	42 34 76	145
5	小黒 貴志	水 城 (2)	37 38 75	38 35 73	148
6	田中 大介	佐野日大 (3)	41 37 78	35 36 71	149
6	山本 浩	日体荏原 (1)	38 34 72	38 39 77	149
8	江原 清浩	埼玉栄 (3)	43 36 79	34 37 71	150
8	太田 直己	水 城 (3)	37 37 74	38 38 76	150
10	菅間 隆夫	埼玉栄 (1)	40 38 78	37 36 73	151
11	立見 洋介	日体荏原 (2)	37 39 76	37 39 76	152
11	戸崎 大和	東京学館 (3)	37 40 77	35 40 75	152
13	日坂 隆一	埼玉栄 (3)	38 39 77	37 40 77	154
13	石井 寿樹	JGAジュニア	39 38 77	39 38 77	154
13	池田 秀一	土浦日大 (3)	40 38 78	38 38 76	154
16	磯 泰司	佐野日大 (3)	40 40 80	37 38 75	155
16	染谷 朋希	日体荏原 (2)	39 39 78	38 39 77	155
18	尚 朝則	佐野日大 (3)	39 38 77	41 38 79	156
19	金井 哲治	日体荏原 (3)	42 40 82	36 39 75	157
19	竹内 寿樹	日体荏原 (3)	40 41 81	37 39 76	157
19	斉藤 大将	水 城 (1)	38 40 78	41 38 79	157
19	松岡 憲彦	水 城 (3)	36 37 73	41 43 84	157
23	坂口 融	埼玉栄 (3)	39 42 81	37 40 77	158
23	熊谷 淳	水 城 (2)	41 40 81	39 38 77	158
23	長崎 庄平	水 城 (2)	42 38 80	39 39 78	158
23	石黒 良	バウムガルテン (2)	41 38 79	39 40 79	158
23	後町貴由紀	水 城 (3)	37 41 78	40 40 80	158
23	館浦 圭	埼玉栄 (3)	36 39 75	43 40 83	158
29	小暮 真一	日体荏原 (3)	42 41 83	38 38 76	159
29	鈴木 健児	水 城 (1)	40 40 80	39 40 79	159
29	木下 久一	都 岡 (3)	40 39 79	36 44 80	159
29	岡田 正志	埼玉高 (3)	39 41 80	40 39 79	159
29	清岡 信行	千葉日大一高 (2)	40 38 78	44 37 81	159
34	小島 慶太	千葉日大一高 (2)	42 40 82	40 38 78	160
34	斉藤 拓也	埼玉栄 (2)	38 40 78	40 42 82	160
36	本木 利明	佐野日大 (1)	40 42 82	39 40 79	161
36	小池 智徳	日体荏原 (1)	41 40 81	41 39 80	161
36	門田 弥	日体荏原 (1)	41 40 81	37 43 80	161
36	村石 哲也	日体荏原 (3)	38 42 80	39 42 81	161
36	岩本 孝志	横浜商大高 (1)	36 43 79	44 38 82	161
41	波多江 崇	日体荏原 (3)	41 42 83	42 37 79	162

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド アウト イン 計	第2ラウンド アウト イン 計	合計
41	山本 泰弘	日大高 (1)	41 40 81	43 38 81	162
41	田部井 篤	聖 学院 (3)	44 39 83	39 40 79	162
41	野口 英樹	佐野日大 (3)	41 42 83	42 37 79	162
41	長島 英明	日体荏原 (2)	41 43 84	37 41 78	162
41	木内 健志	水 城 (2)	39 45 84	42 36 78	162
41	樋口 和真	埼玉栄 (3)	37 42 79	42 41 83	162
48	湯沢 知	佐野日大 (3)	40 43 83	41 39 80	163
48	小岩 博	日大高 (3)	44 40 84	39 40 79	163
48	酒井 英昭	土浦日大 (3)	42 42 84	37 42 79	163
48	桜井 陽介	駒 沢 (3)	42 42 84	39 40 79	163
48	佐藤 真弘	日大一高 (1)	38 42 80	43 40 83	163
48	高森 善裕	立 正 (1)	45 41 86	40 37 77	163
48	中込 憲	横浜商大高 (3)	39 39 78	42 43 85	163
55	松本 吉貴	明大中野 (2)	42 40 82	40 42 82	164
55	山田 竜馬	佐野日大 (2)	42 40 82	42 40 82	164
55	渡辺 秀吉	荒 川 高 (3)	42 39 81	42 41 83	164
55	糸久 泰輔	聖 学院 (3)	44 40 84	39 41 80	164
55	土屋 裕伺	鹿島学園 (3)	42 38 80	40 44 84	164
55	鈴木 清邦	志 学 館 (3)	43 42 85	40 39 79	164
55	松村 晃道	佐野日大 (1)	43 42 85	36 43 79	164
62	大熊 洋司	埼玉栄 (3)	40 43 83	39 43 82	165
62	佐藤 良成	埼玉栄 (2)	42 42 84	38 43 81	165
62	市原 大輔	水 城 (2)	41 38 79	42 44 86	165
62	野沢 弘典	水 城 (2)	42 44 86	40 39 79	165
62	平尾 貴幸	日大豊山 (3)	42 44 86	39 40 79	165
62	渡邊 勝登	明大中野 (2)	43 43 86	41 38 79	165
68	川根 隆史	東京農大三高 (1)	38 44 82	43 41 84	166
68	田辺 龍樹	日体荏原 (3)	40 43 83	41 42 83	166
68	小田垣英之	佐野日大 (2)	40 40 80	39 47 86	166
68	山本 義行	日体荏原 (1)	43 41 84	38 44 82	166
68	栗山 忠男	日体荏原 (1)	40 46 86	40 40 80	166
68	豊 裕次	日体荏原 (3)	41 37 78	43 45 88	166
74	土谷 正剛	慶應義塾 (3)	42 41 83	41 43 84	167
74	新葉 晴崇	埼玉栄 (3)	41 39 80	41 46 87	167
74	中田 恭平	堀 越 (2)	40 45 85	40 42 82	167
74	滝口 朋秀	東京学館 (3)	40 46 86	41 40 81	167
78	山本 友也	慶應義塾 (2)	43 39 82	43 43 86	168
78	勝野 彰啓	伊東商業 (2)	42 40 82	40 46 86	168
80	浅野 慶彦	前橋育英 (3)	38 44 82	42 45 87	169
80	猿田 勝大	明大中野 (1)	39 44 83	42 44 86	169
80	李 和成	高 輪 高 (2)	42 38 80	44 45 89	169

平成9年度(第18回)関東ジュニアゴルフ選手権競技成績表

男子15歳～17歳の部

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド アウト イン 計	第2ラウンド アウト イン 計	合計
83	比嘉 大樹	横浜 (2)	40 43 83	44 43 87	170
83	平松 幹弘	堀 越 (3)	43 40 83	42 45 87	170
83	佐藤 圭政	桐 陽 (3)	41 44 85	42 43 85	170
83	津住 聖	桐 陽 (3)	42 43 85	43 42 85	170
87	川本 学	目 黒 (3)	40 43 83	43 45 88	171
88	大野 通哉	埼玉 高 (3)	43 42 85	43 44 87	172
88	大和 悠生	埼玉 高 (3)	45 41 86	43 43 86	172
90	関 敏司	埼玉 栄 (3)	41 44 85	41 47 88	173
91	神田 喬	藤原藤沢 (3)	42 43 85	40 49 89	174
91	酒巻 晴紀	水 城 (3)	41 44 85	39 50 89	174
91	国近 隆一	駒場学園 (2)	43 42 85	45 44 89	174
94	三木 将央	専大附属高 (3)	45 41 86	43 47 90	176
(失格)	塚本 崇久	東京学院浦安 (1)	— — —	— — —	—

女子15歳～17歳の部

●開催日 平成9年8月1日(金)
●会場 武蔵カントリークラブ・笹井コース
6,360ヤード・パー72 18ホールストロークプレー

順位	選手名	学校名/学年	アウト イン	合計
1	川原 由雄	水戸南高 (3)	34 37	71
2	小林 英恵	堀 越 (3)	38 36	74
3	朝所 由夏	埼玉 栄 (2)	38 37	75
3	塩田亜飛美	堀 越 (3)	38 37	75
6	池 麻里子	埼玉 栄 (3)	39 37	76
7	藤訪知加世	埼玉 栄 (3)	39 38	77
7	山田 千里	埼玉 栄 (2)	38 39	77
9	堀内 愛	武蔵野 (3)	39 39	78
10	河野 亜紀	東京学院浦安 (3)	38 41	79
11	近藤 芳美	白鷗女子 (3)	39 41	80
12	桜井 裕華	埼玉 栄 (1)	40 42	82
13	井上 景湖	堀 越 (2)	41 42	83
13	土肥 友子	堀 越 (2)	39 44	83
15	高山 幸子	佐野日大 (3)	41 43	84
16	石井 圭	浦安高 (1)	44 41	85
16	岩下沙耶果	埼玉 栄 (3)	43 42	85
18	高橋 智子	堀 越 (1)	47 39	86
19	石田 由香	東京学院浦安 (3)	43 45	88
20	中村 英美	佐野日大 (1)	45 46	91
20	小林 友紀	東京学院浦安 (3)	43 48	91

男子12歳～14歳の部

●開催日 平成9年8月1日(金)
●会場 武蔵カントリークラブ・笹井コース
6,664ヤード・パー72 18ホールストロークプレー

順位	選手名	学校名/学年	アウト イン	合計
1	小川 純一	引地台中 (3)	37 35	72
2	市原 弘大	向 原 中 (3)	37 36	73
3	浦郷 夏希	伊 藤 中 (3)	38 38	76
4	内田 恭史	大 野 中 (3)	36 41	77
5	鈴木 英児	水戸二中 (2)	38 40	78
5	西川 剛	上 野 中 (3)	40 38	78
7	糸井 中	利 根 中 (2)	38 41	79
8	大濱 考洋	木 曽 中 (3)	43 38	81
8	池 大輔	黒 崎 中 (3)	41 40	81
10	伊東 聖悟	国士館中 (2)	42 40	82
11	中島 徹	甲府東中 (1)	44 39	83
11	藤田 尚希	水戸三中 (3)	42 41	83
11	小原 淳	成 城 中 (2)	44 39	83
14	村松 孝彦	千夏日大一中 (2)	42 43	85
14	渡辺 将光	富 士 中 (2)	44 41	85
16	岡田 瞬	牛久一中 (2)	45 41	86
17	葵館 利明	双 葉 中 (2)	41 46	87
17	井上 雄貴	陽 南 中 (2)	46 41	87
17	岡田 豪太	慶應義塾 (2)	44 43	87
20	畑井 悠佑	日 大 中 (3)	45 43	88
20	渡辺 顕次	調布五中 (3)	47 41	88
22	松村 道央	佐野日大中 (2)	46 43	89
23	小林 勇介	城 南 中 (3)	50 43	93
24	宮崎 隆司	桜 丘 中 (1)	47 47	94
25	白川 裕司	西中原中 (1)	46 51	97

女子12歳～14歳の部

●開催日 平成9年8月1日(金)
●会場 武蔵カントリークラブ・笹井コース
6,360ヤード・パー72 18ホールストロークプレー

順位	選手名	学校名/学年	アウト イン	合計
1	下村真由美	牛久一中 (3)	39 39	78
2	塩田美樹子	永 田 中 (3)	41 40	81
2	高橋友希子	砂 中 (2)	43 38	81
4	新井明日香	太田旭中 (2)	43 40	83
5	飯島 茜	八千代中 (2)	40 44	84
6	鈴木ゆり子	門 池 中 (2)	45 40	85
7	飯塚 千重	武蔵野中 (3)	45 46	91
7	木下 歩美	千城台南中 (3)	40 51	91

平成9年度 第3回 リトルジュニアゴルフ大会成績表

〈男子の部〉

●開催日 平成9年8月26日(火)
●会場 若洲ゴルフリンクス 5,044ヤード パー72
参加者47名

ランク	氏 名	学校名 / 学年	スコア
1	朝所 卓	高木第二小 (6)	73
1	山岸徳太郎	慶 應 小 (5)	73
3	大沼 孝祐	羽 沢 小 (5)	76
4	木下 裕太	千城台組小 (5)	79
4	斎藤 麗	石 和 北 小 (6)	79
4	森藤 貴史	辻 堂 小 (6)	79
7	石井 啓太	飯 岡 小 (4)	81
8	渡辺 俊登	日出学園小 (5)	82
9	芳賀 洋平	西 園 小 (6)	84
9	庄司 秀一	大西学園小 (5)	84
11	滝川 優	玉川学園小 (5)	85
12	朝山 慎平	成城学園初 (5)	86
13	日原 風志	梅 田 小 (4)	87
13	神 洋輔	青 葉 小 (6)	87
13	山取 大希	川越第一小 (6)	87
16	岩本 裕史	加 須 小 (6)	88
17	大村謙志郎	聖徳大 (4)	90
17	田谷 智春	大 村 小 (6)	90
17	高原 亮	梁 瀬 小 (6)	90
20	高橋 玄馬	朝 日 小 (6)	91
21	阿部 大輔	光ヶ丘小 (5)	93
21	井上 紳也	本 宿 小 (5)	93
23	阿部 善彦	芦 花 小 (5)	95
23	上橋岡第六小	島田 力 (5)	95
23	野村 剛健	花 葉 小 (6)	95
23	一橋 光輝	新 城 小 (2)	95
27	塩沢 友亮	府中第七小 (4)	96
28	望月 健志	池ノ上小 (5)	97
29	大満 崇真	吉 岡 小 (3)	98
29	八尋 勇樹	精 華 小 (4)	98
31	大田和桂介	芝 浦 小 (3)	101
32	高松 瑞徳	第二大島小 (6)	102
32	神小坂拓也	夢 平 小 (4)	102
34	山田 将之	江 藤 小 (5)	103
34	品川幸太郎	西戸山小 (4)	106
34	坂田 秀孝	宇沢大竹中 (6)	106
37	山田 弘也	日野第五小 (2)	108
38	堀江 祐太	小平第一小 (6)	109

ランク	氏 名	学校名 / 学年	スコア
38	金澤 成志	稚 子 小 (6)	109
40	塩山 隆介	慶 應 小 (5)	113
41	滝川 経	玉川学園小 (3)	116
42	別府 弘章	立 教 小 (5)	117
43	加藤三四郎	紅 梅 小 (3)	123
44	小野沢貴之	立 教 小 (5)	124
45	仲村慎之介	花 野 井 小 (4)	129
46	島野 圭祐	春日部緑小 (6)	142
47	島野 孝祐	春日部緑小 (4)	157

〈女子の部〉

●開催日 平成9年8月26日(火)
●会場 若洲ゴルフリンクス 5,044ヤード パー72
参加者18名

ランク	氏 名	学校名 / 学年	スコア
1	本部 智美	信 篤 小 (5)	83
1	藤井 一世	原 市 小 (6)	83
3	片岡 由布	野 川 小 (6)	91
4	林 佳世子	川 村 小 (6)	92
5	工藤 夢	八 雲 小 (5)	96
6	山岸 舞紗	日女大附属小 (5)	97
7	杉山 由衣	井 の 舘 小 (6)	98
7	三川 直恵	桜 町 小 (5)	98
7	福葉 愛	番 町 小 (5)	99
10	中島 瑞希	柿の木台小 (6)	99
11	安田このみ	聖 学院 小 (6)	103
12	横濱真実美	四谷第三小 (6)	109
13	福葉 謙	福 葉 小 (4)	116
13	南雲 真菜	曙 山 小 (3)	116
15	佐藤 香織	日 下 小 (4)	119
16	手塚 瞳	上 神明小 (5)	127
17	四津 佑子	湘南白百合小 (4)	131
18	馬場 笑子	三 ツ 境 小 (5)	148

平成8年度 平成9年度 夏季ジュニア・ゴルフスクール実績表

	開催日	倶 楽 部	定 員	申し込み	欠 席	参加者	委 員	男子プロ	女子プロ
1	H8 7月29日(月)	筑 波	150	59	7	52	7	6	2
	H9 7月28日(月)	筑 波	150	59	1	58	8	10	1
2	H8 7月29日(月)	鷹 之 台	150	90	12	78	9	12	1
	H9 7月28日(月)	鷹 之 台	150	126	11	115	8	12	3
3	H8 8月2日(金)	グランステーション	50	5	1	4	0	2	0
	H9 8月1日(金)	グランステーション	50	5	1	4	0	2	0
4	H8 8月2日(金)	袖ヶ浦	150	67	9	58	7	12	0
	H9 8月1日(金)	袖ヶ浦	150	110	22	88	5	12	1
5	H8 8月6日(火)	東京国際	150	99	12	87	9	11	0
	H9 8月5日(火)	東京国際	150	127	19	108	11	12	1
6	H8 8月12日(月)	相 模	150	134	8	126	5	12	4
	H9 8月11日(月)	相 模	150	153	28	125	8	16	3
7	H8 8月20日(火)	我 孫 子	120	126	18	108	11	13	2
	H9 8月11日(月)	我 孫 子	120	115	14	101	8	13	3
8	H8 8月13日(火)	若 州	150	157	18	139	13	17	2
	H9 8月12日(火)	若 州	150	152	19	133	8	16	4
9	H8 8月16日(金)	東 京	120	75	17	58	10	11	0
	H9 8月12日(火)	東 京	120	74	7	67	10	11	2
10	H8 8月19日(月)	ノーザン緑ヶ原	150	127	20	107	10	13	0
	H9 8月18日(月)	ノーザン緑ヶ原	150	124	17	107	9	12	4
11	H8 8月12日(月)	桜ヶ丘	150	73	12	61	8	8	0
	H9 8月25日(月)	桜ヶ丘	150	102	16	86	9	10	4
12	H8 8月19日(月)	唐沢三好親子	150	27組54名	2組4名	25組50名	6	6	0
	H9 8月11日(月)	唐沢三好親子	150	32組64名	5組10名	27組54名	8	8	1
13	H8 8月26日(月)	浅見親子	150	47組94名	3組6名	40組80名	5	11	0
	H9 8月25日(月)	浅見親子	150	42組84名	7組15名	35組69名	5	12	4
合計		H8	1,790	1,160	144	1,008	100	134	11
		H9	1,790	1,295	180	1,115	97	146	31

新規加盟倶楽部紹介

清澄ゴルフ倶楽部（準会員）



1. 倶楽部名 清澄ゴルフ倶楽部
住 所 〒355 埼玉県東松山市大字神戸1875
電 話 ☎0493-353344
2. 開場年月日 平成5年10月13日
3. 理事長 北岡 徹 (T.12.5.20)
倶楽部代表者 同上
4. 倶楽部分科委員長 選任中
5. 支配人 総支配人 中島 滋 (S15.1.15)
6. 倶楽部概要

埼玉県のほぼ中央部、気候温和で豊かな東松山市の西に位置し、関越自動車道・東松山ICより10分、また東武東上線・高坂駅よりバスで10分と都内、近県からの交通のアクセスに恵まれている。

コースは巨匠井上 誠一氏の愛弟子で、いまやコース設計界の重鎮でもある大久保 昌氏の手により設計された。「できるだけ自然に」

のコンセプトのもと、36万坪の敷地には自然林を豊富に残し、18ホールズ 7,033ヤード、パー72のゆったりとしたコースを造り上げた。雑木林が多いため新緑の頃になると、緑のバステル・カラーがコース全体を覆っていく。やがて濃い緑に変わり行く様子は、訪れたプレーヤーの目を充分に楽しませるものがある。

アウトの3番は造成中に縄文式住居跡が発見され、そのままグラス・バンカーとして再現している。コース内には深いグラス・バンカーが多く、プレーヤーの行く手を遮り、同時にそれぞれが個性豊かな造成美をプレーヤーの前に展開している。

インコースの11番は全英オープンが開催コースでもあるスコットランドの「カーヌスティ・ゴルフリンクス」をイメージして造られている。ティ・ショットの落ち際にクリークが横切り、さらにグリーン手前から奥へと流れ込む。このS字型のクリークはプレーヤーに適格なクラブ選択、正確なショットを要求する。

イン・アウト全体を通してコース高低差がわずかに20メートルとフラットに仕上がっており、同時にホール間のインターバルが短いために、年配の方や女性でもラウンド後の疲労感が少ない。

法人会員制度の倶楽部であっても、料金はリーズナブルとし、更に引き届いたコース・メンテナンスや接客等の顧客満足度アップを目指している。

(前号に掲載の予定でしたが、手違いで号中になりましたことを、お詫びいたします。尚、入会日は、平成9年4月2日でした。)

事務局より

倶楽部対抗開催方式に関するアンケート報告

ご協力いただきまして、ありがとうございました。調査結果を資料として、競技委員会、委員長会議、常務理事会において慎重に審議、検討いたしました。その結果、「10年度以降も現方式にて開催する」との結論に達しました。とくにさまざまな意見が出たのは、第4項、不慮の怪我、病気または失格者が出た場合のイ、ロについてでした。回答数でも救済策を望むが92であり、失格とする82より多くなっております。競技委員会でも意見の分かれるところでした。しかし、何をもって不慮の怪我、病気とするか、判断が難しく、

微妙な問題であること。また、現方式を採用してから生じたトラブルは1件だけである事実もあり、救済策を考える必要がないのではという意見が多数を占めました。また、第7項でいちばん多かった回答(要望)は「昨今のゴルフ界事情を考慮し、費用の軽減を図るよう、KGAより通達、指導されたし」との声でした。機会を見て、参加倶楽部の事例を挙げて参考資料としておとどけたいと考えております。回答者の中にはご不満の方もいらっしゃると思いますが、総意をおくみとりいただき、ご理解下さるようお願いいたします。

アンケート内容	総計	新潟県	長野県	山梨県	群馬県	栃木県	茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	静岡県	倶楽部合計	常務理事	理事長	競技委員長	委員合計
加盟倶楽部数・委員人数	593	31	29	18	38	79	69	41	77	14	35	45	476	20	36	61	117
回答倶楽部数・回答委員数	248	18	13	8	14	30	22	18	29	7	17	17	193	8	16	31	55
回答率(%)	42	58	45	44	37	38	32	44	38	50	49	38	41	40	44	51	47
1. 9年度参加倶楽部のみ回答 10年度以降も参加する 参加しない	206 4	17 13	7 14	23 3	20 14	24 7	14 11	164 1	4 4	3 4	18 3	6 14	22 42	0 0	1 3	1 3	3 3
2. 9年度不参加倶楽部のみ回答 10年度以降も参加する 参加しない	3 21	1 1	1 1	2 2	1 2	4 4	3 3	4 9	6 13	4 9	6 9	8 14	16 32	1 1	1 1	1 1	3 17
3. 出場人数 イ. 現行の6人制でよい ロ. 増やしてほしい	179 44	14 3	13 3	10 4	21 4	19 5	13 3	22 3	4 2	11 3	10 2	140 21	4 4	11 4	24 8	39 13	
4. 不慮の怪我、病気または失格者が出た場合 イ. 現行のようにチーム全体を失格とする ロ. なんらかの救済策を考慮して欲しい	110 113	9 8	6 7	3 4	7 7	15 10	6 16	9 8	11 13	3 4	5 9	6 6	80 92	4 3	10 4	16 14	30 21
5. 選手の年齢区分について イ. 現行のAクラス55歳以上、Bクラス年齢制限なしでよい ロ. Aクラス60歳以上、うち1名は65歳以上とする	178 38	16 13	7 7	14 18	18 19	14 14	22 2	4 3	11 3	8 5	146 21	1 5	12 2	12 10	19 17	32 17	
6. 決勝戦は42倶楽部が関与(1倶楽部の出場人数を増やすと) イ. 決勝の出場枠を減数してもかまわない ロ. 決勝は6人制、予選は人数を増やして欲しい ハ. 里によっては、1ブロック制を2ブロックにしてかまわない	57 41 33	4 1 1	4 1 1	4 3 3	13 3 4	4 3 2	4 6 1	4 1 4	6 1 5	2 3 2	3 1 2	2 2 2	46 26 27	2 2 6	1 3 2	8 10 15	11 16 6
7. その他、倶楽部対抗に関する意見	83	5	2	3	5	12	5	6	8	3	4	4	57	6	5	15	26

※回答率 41.8% 平成9年9月10日現在

分科委員会

平成9年度 関東ゴルフ連盟
第2回競技委員会議事録

日 時 平成9年9月6日(土) 15時30分
場 所 関東オープン会場(水戸グリーン)会議室
出席者 新井委員長、田村・平山・野口・山田各副委員長、飯盛、小澤、上辻、亀井、鈴木、関谷、高橋、戸田、山田(武)、山田(保)、山部、田中、大島、田辺、発知、宮本、織戸、魚本、梅沢各委員

— 討議及び決議事項 —

1. 倶楽部対抗アンケート集計報告及び平成10年度以降の開催方式について
別資①の調査結果一覧表を基に討議した。

●設問4以外は、現行開催方式を良しとする回答であるが、何をもって不慮の事態と判定するか微妙かつ複雑であり、救済処置をとることは難しい。したがって、出場者の選択にあたっては、スポーツとしてのゴルフの原点に立って行われることを加盟倶楽部に要請することとした。

2. 平成10年度競技日程及び開催倶楽部
事務局より、別資②に基づく報告がなされ、全員これを確認した。

3. 国体小委員会について
新井委員長より別資③の「国体小委員会レポート」の説明がなされ、全員これを確認した。なお、この「国体小委員会レポート」は、委員長会議(9月16日開催)にて検討討議され、常務理事会(9月18日)に上程される。

4. 「平成9年度アンダーハンディキャップゴルフ選手権」について
事務局より、各都県参加状況が別資④を基に報告された。都県に

よりバラツキが目立ち、10年度以降の参加の呼びかけ方法等を今後の検討課題とした。

5. 競技打ち合わせについて

以下の主催競技は今年度中に開催倶楽部と打ち合わせ(コース・チェック等)する必要がある、担当班、担当者を決定した。

- 9年度 アンダーハンディキャップ決勝競技(大利根)
10月10日～15日 第1班、第2班より各4名
- 10年度 倶楽部対抗東京地区予選(赤羽)
新井委員長、田辺委員
- 10年度 倶楽部対抗決勝競技(東千葉)
野本委員、第1班委員

平成9年度 関東ゴルフ連盟
第3回コース・レート委員会議事録

日 時 平成9年7月10日(木) 正午
場 所 KGA会議室
出席者 大原委員長
岡田・前川各副委員長
生田、大久保、岡田(史)、平本、松岡、森、和田各委員
渡邊顧問

— 討議及び決議事項 —

1. 査定数値決定について
古河ゴルフリンクス以下5倶楽部についてコース・レーティングを以下のように決定した。
●古河ゴルフリンクス
「バック・ティ」「ペントグリーン」
72.6
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」
69.9
「フロント・ティ」「ペントグリーン」
66.9

2. 査定スケジュールについて
オールドオーチャードゴルフクラブ以下6倶楽部について、査定日を以下のように決定した。
●オールドオーチャードゴルフクラブ
9月3日(木)
●TPC水戸後楽園カントリークラブ

「フロント・ティ」「ペントグリーン」
67.8

●ミサワカーディナルゴルフクラブ
「バック・ティ」「ペントグリーン」
71.1
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」
69.1
「フロント・ティ」「ペントグリーン」
67.4

●阿賀高原ゴルフ倶楽部
かえで・ぶな
「バック・ティ」「ペントグリーン」
72.1
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」
69.8
「フロント・ティ」「ペントグリーン」
68.8

ぶな・けやき
「バック・ティ」「ペントグリーン」
72.1
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」
69.8
「フロント・ティ」「ペントグリーン」
68.8

かえで・ぶな
「バック・ティ」「ペントグリーン」
72.1
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」
69.8
「フロント・ティ」「ペントグリーン」
68.8

●市原ゴルフクラブ柿の木台コース
「バック・ティ」「ペントグリーン」
69.1
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」
67.7
「フロント・ティ」「ペントグリーン」
66.3

●TPC水戸後楽園カントリークラブ

分科委員会

●中軽沢カントリークラブ	9月16日(火)	欠席者数	事前連絡 6名 (男子3名、女子3名)
●花生カントリークラブ	10月2日(木)	当日連絡	2名(男子)
●真名カントリークラブゲリープレーヤーコース	10月27日(月)	無断欠席	0名
●美里ロイヤルゴルフクラブ	10月28日(火)	出場者数	138名 (男子98名、女子40名)
	11月4日(火)	科 罰 者	0名
		ミーティング欠席	0名
		失 格 者	0名
		棄 権 者	0名
		次回プレーオフ	《男子》

平成9年度 関東ゴルフ連盟 第3回月例競技委員会議事録

日 時 平成9年7月18日(金) 12時30分
場 所 KGA会議室
出席者 斎藤委員長
山崎、川島副委員長
市川、小久保、小池、岡野、
桜井、嶋田各委員
学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 7月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。
「梅雨の時期で天候が心配されたが、比較的コンディション良く、順調に競技は進行した。グリーンの状態が非常に良く、好スコアが続出した。女子のトップは72、男子も70に5名が並ぶ大混戦で、次回5名によるプレーオフというものも、最近では例がない。男女共に参加者がやや少なめであったため、競技は順調に終了したが、折角のレヴェルの高い試合も、今だ携帯電話の持ち込みや、プレーヤーの未着用等、改善されない問題点を残してしまったのは残念でならない。今後ミーティングでは厳重注意にあたりたい」。

エントリー数他は以下のとおり
開 催 日 平成9年7月14日(月)
コ ー ス 総武カントリークラブ(印旛コース)
エントリー 146名
(男子103名、女子43名)

欠席者数 事前連絡 6名
(男子3名、女子3名)
当日連絡 2名(男子)
無断欠席 0名
出場者数 138名
(男子98名、女子40名)
科 罰 者 0名
ミーティング欠席 0名
失 格 者 0名
棄 権 者 0名
次回プレーオフ 《男子》

横山佳和(東京よみうり)、
和田博(東京五日市)、白
井敏夫(総武)、日暮俊明
(扶桑)、嶋田恵人(青梅)

2. 7月月例出場資格者報告の件

男子493名(+7名) 女子183名(+2)

8月月例出場資格者確認の件

Hdcp処理未着のため、次回委員会にて報告

3. 8月のテーマ

- パー5は15分、パー4は14分、パー3は11分を目安としてラウンドすること(ティ・グラウンドから次のティ・グラウンドまで)
- 使用しないティ・グラウンドの歩行を禁止する。

4. その他

- 参加選手のマナー面の低下について
前回のミーティング時の指導にもかかわらず、相変わらず選手のマナー面の低下は今回も目立った。特に今回は、ミーティング中に携帯電話が鳴り響く始末で、即注意を与えたが、一向に改善されないため、現在「携帯電話の使用は禁止」としている注意事項を、「クラブハウス内への持ち込みは厳禁」という表現に変更することとした。
- また、プレーヤーの未着用、クラブハウス玄関前の駐車等についても、さらなる指導が必要である。

平成9年度 関東ゴルフ連盟 第4回月例競技委員会議事録

日 時 平成9年8月29日(金) 12時30分
場 所 KGA会議室
出席者 斎藤委員長
山崎副委員長
平山、小池、額賀、岡野各委員
学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 8月度競技報告及び総括

川島副委員長欠席のため、山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「今回は女子の距離をやや短めに設定。その影響か、上位はベテランの選手で占められた。ただ、最近バントグリーン主流になりつつある中で、高麗グリーンに戸惑う選手が多いようで、スコア的には低調であった。一方の男子はなかなか高いレヴェルの試合であったと思われる。和田選手の68はコースレコードタイ記録で素晴らしい、プレー終了後、尚も練習場に向かう姿勢は立派であった。

朝の交通事情がなかなかつかめず、渋滞に巻き込まれてスタートぎりぎりに間に合ったり、遅刻をする選手が非常に多く、注意を喚起した」。

エントリー数他は以下のとおり
開 催 日 平成9年8月8日(金)
コ ー ス 高麗カントリークラブ(和光コース)
エントリー 169名
(男子119名、女子50名)
欠 席 者 数 事前連絡 7名
(男子5名、女子2名)
当日連絡 2名
(男子1名、女子1名)

無断欠席 0名
出場者数 160名
(男子113名、女子47名)
科 罰 者 5名(遅刻=男子)
ミーティング欠席 0名
失 格 者 0名

分科委員会

棄 権 者 2名
(男子1名、女子1名)
次回プレーオフ 《女子》
湯原光葉(鳥山城)、猪
股美恵子(上総富士)

2. 8月月例出場資格者報告の件

男子499名(+6名) 女子186名(+3)

9月月例出場資格者確認の件

Hdcp処理未着のため、次回委員会にて報告

3. 9月のテーマ

- 使用しないティ・グラウンドの歩行を禁止する。
- ボールマークの修復の徹底

4. 平成10年度開催日程について

別紙のとおり確認をした。各競技との日程を考慮しながら、順次決定していくことを確認した。

5. その他

- 女子の距離設定について
今回、女子の距離をやや短めに設定したが、次回より、さらに短く設定し、成績面での様子を見ることにした。

平成9年度 関東ゴルフ連盟 第5回月例競技委員会議事録

日 時 平成9年9月24日(水) 12時30分
場 所 KGA会議室
出席者 斎藤委員長
山崎副委員長
平山、市川、小久保、松井、
額賀、桜井各委員
学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 9月度競技報告及び総括

平山委員より下記の報告及び総括がなされた。
「グリーンの状態はあまり良くなく、台風の影響による悪天候を予想し

たビンの位置であったが、男女共に好スコアが続出した。特に男子の上位選手はアプローチ、パットの差が成績に表れており、コースレートから見ても妥当であったと思われる。一方の女子は今回も距離をさらに短く設定したが、やはり上位にはベテランの選手が進出するようになった。最近、遅刻による科罰者、失格者が多く出ており、今回も初参加のジュニアの選手が遅刻により失格となった。

毎回ミーティング時に注意を与えているが、普段のプレー時と同じ感覚でとらえている選手が多いようである。今後も適宜、指導にあたりたい」。

エントリー数他は以下のとおり
開 催 日 平成9年9月17日(水)
コ ー ス 江戸崎カントリー倶楽部(南コース)
エントリー 154名
(男子101名、女子53名)

欠 席 者 数 事前連絡 5名
(男子4名、女子1名)
当日連絡 0名

無断欠席 0名
出場者数 149名
(男子97名、女子52名)

科 罰 者 1名(遅刻=男子)
ミーティング欠席 2名(男子)
失 格 者 1名(女子)
棄 権 者 0名

次回プレーオフ 《女子》
吉崎範子(東名厚木)
渡辺恵子(高根)

2. 9月月例出場資格者報告の件

男子502名(+3名) 女子191名(+5)

10月月例出場資格者確認の件

Hdcp処理未着のため、次回委員会にて報告

3. 10月のテーマ

- 使用しないティ・グラウンドの歩行を禁止する。
- ボールマークの修復の徹底

4. 平成10年度開催日程について

前回同様、別紙のとおり確認をした。

5. その他

- 雷対策について
先日落雷による死亡事故が発生したが、KGAとしても月例競技だけに限らず、全競技において早急に対策を講じる必要がある。具体的な対処法、保険の問題等も含めて、今後委員会で検討していくこととした。

平成9年度 関東ゴルフ連盟 第3回広報委員会議事録

日 時 平成9年7月15日(火) 16時
場 所 KGA会議室
出席者 高橋委員長
宮元副委員長
舟橋、石川、片山、塩田、杉山、
山田各委員

—討議及び決議事項—

1. KGAニュース No.59総括

上期主催競技レポートの号であったが、各々の競技の問題点、改善策が筆者より指摘されており、関係委員会に提案することになった。

2. No.60企画案

- オープン特集号。マンデー、本選、ジュニアクリニックを取材。
- 関東ジュニア選手権
- リトルジュニアゴルフ大会
- 国体についての座談会
司会 高橋広報委員長、根本太清英
城県ゴルフ連盟副理事長、西村
仁一埼玉県ゴルフ協会理事長
- レポート

これまで、関東アマは昭和25年に復活していたと思われていたが、東京ゴルフ倶楽部の資料より、昭和24年であったことが判明した。当時のゴルフ界等を取材しながらしかるべき号において、掲載することとした。

月例競技成績表

〔平成9年度7月月例〕 7月14日(月) 総武カントリークラブ／印旛コース

男子

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	日暮 俊明	扶 桑	36	34	70
1	白井 敏夫	総 武	35	35	70
1	嶋田 憲人	青 梅	36	34	70
1	和田 博	東京五都市	37	33	70
1	横山 佳和	東京よみうり	36	34	70

コースレート71.2

女子

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	渡辺 恵子	高 根	35	37	72
2	金 沙織	都 賀	38	37	75
3	金子 洋子	レイン・セレス	38	38	76

コースレート69.2

※男子1位タイの日暮、白井、嶋田、和田、横山の各氏は8月月例にてプレーオフを行い、優勝者を決定する。

〔平成9年度8月月例〕 8月8日(金) 高坂カントリークラブ／米山コース

男子

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	和田 博	東京五都市	35	33	68
2	中野 正義	霞ヶ浦出島	33	37	70
2	小川 透	岡部ナサン	35	35	70
4	徳永 雅洋	ザ・レイクス	38	33	71
4	桜井 秀剛	ニッソー	35	36	71

コースレート72.5

女子

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	潮原 光葉	鳥 山 城	39	40	79
1	猪股美恵子	上 総 富士	40	39	79
3	加藤 勝栄	相 模 原	40	40	80

コースレート70.5

※7月度のプレーオフは、和田博選手の優勝者に決定しました。
※女子1位タイの潮原、猪股の両氏は9月月例にてプレーオフを行い、優勝者を決定する。

〔平成9年度9月月例〕 9月17日(水) 江戸崎カントリー倶楽部／南コース

男子

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	内藤 正幸	桜ヶ丘	36	33	69
2	上島 英信	ニッソー	38	33	71
2	日暮 俊明	扶 桑	36	35	71
4	金 浩延	塩 原	38	34	72
4	桜井 秀剛	ニッソー	36	36	72
4	杉山 敏	総 武	35	37	72
4	額賀 義朗	船 橋	37	35	72

コースレート72.0

女子

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	合計
1	渡辺 恵子	高 根	37	39	76
1	吉崎 範子	東 名 厚 木	37	39	76
3	五十嵐洋子	藤 岡	38	40	78

コースレート70.1

※8月度のプレーオフは、猪股美恵子選手の優勝に決定しました。
※女子1位タイの渡辺、吉崎の両氏は10月月例にてプレーオフを行い、優勝者を決定する。

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は、次記のとおりです。訂正加筆をお願いいたします。

理事長

- セント・フィールズゴルフクラブ
(新) 星野 隆助 (旧) 橋爪 孝之
- 埼玉ゴルフクラブ
(新) 角田 彦三 (旧) 田中 昌司
- 東松山カントリークラブ
(新) 伊室 一義 (旧) 西村 忠雄
- 東京ゴルフ倶楽部
(新) 近衛 通隆 (旧) 細川 護貞

倶楽部代表者

- 草津カントリークラブ
(新) 萩原 剛 (旧) 古茶 一之
- セント・フィールズゴルフクラブ
(新) 星野 隆助 (旧) 橋爪 孝之
- 埼玉ゴルフクラブ
(新) 角田 彦三 (旧) 田中 昌司
- 東松山カントリークラブ
(新) 水野 康吉 (旧) 西村 忠雄
- 大栄カントリー倶楽部
(新) 中澤 健一 (旧) 栗本 精治
- TPC水戸後楽園カントリークラブ
(新) 林 有厚
- 阿見ゴルフクラブ
(新) 植藤 泰浩
- 茨城ロイヤルカントリー倶楽部
(新) 竹森 勝次郎・篠原 庸二
- オールドオーチャードゴルフクラブ
(新) 足立 信之・野呂 正則
- 東京ゴルフ倶楽部
(新) 田中 善一郎 (旧) 細川 護貞

支配人

- 東雲ゴルフクラブ

- (新) 岡崎 秀雄 (旧) 阿久津 幸夫
- ミサワガーデンクラブ
(新) 秋藤 英雄 (旧) 長沼 三郎
- エンゼルカントリークラブ
(新) 舩村 利夫 (旧) 吉田 完二
- 東千葉カントリー倶楽部
(新) 木川 正昭(副支配人) (旧) 山老 浩志
- 富士宮ゴルフクラブ
(新) 渡辺 武 (旧) 清 忠
- 都賀カントリー倶楽部
(新) 壁谷 盛夫 (旧) 米澤 敏男
- 東名厚木カントリー倶楽部
(新) 阪本 博 (旧) 内海 卓也

東京事務所

- セント・フィールズゴルフクラブ
(新) 〒103 中央区日本橋本町2-8-6 東信日本橋ビル6F
TEL 03-3664-5281 FAX 03-3664-5367

会社名

- セント・フィールズゴルフクラブ
(新) テクノグリーン

東京事務所

- 茨城ロイヤルカントリー倶楽部
〒100 千代田区永田町2-10-2 TBRビル 1013
TEL 03-3593-8888 FAX 03-3593-8889

休場日・その他

- TPC水戸後楽園カントリークラブ 第1、4(金)
- 阿見ゴルフクラブ 第2、4(月) FAX 0298-89-1145
- 茨城ロイヤルカントリー倶楽部(月)
- オールドオーチャードゴルフクラブ(月) FAX 029-292-7411
- 花生カントリークラブ FAX 0470-83-0511

平成9年10月1日発行 KGA ニュース No.60
発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391
発行人／細川 護貞 編集／広報委員会